

令和5年度 基本方針

鹿児島県弓道連盟

○ はじめに

全弓連の方針に沿って実施し、開催方法は新型コロナウイルス感染症に対応した実施の形態とし、原則として従来の全事業を実施する。

去年は、新型コロナウイルス蔓延の中、マスク着用、集合時間の制限、無観客の中、県内の主な大会や講習会、審査会を実施することができた。離島はビデオ審査も実施することができた。

このような状況の中であったが、鹿児島工業高校の全国優勝や、成年の全日本弓道大会での入賞、栃木国体での成年男子、少年男女の入賞などすばらしい成果をおさめた。

今年は、このような状況がまだ続くことが予想されるが、会員の技術力、競技力の向上を図ることが重要であると考えます。

特に今年は、「燃える感動かごしま国体」として出水市で開催することになっている。会員の皆様のご協力とご助力をお願いし、大会を開催したいと思う。

○ 令和5年度の重点事項

- 1 「かごしま国体」の実施に当たり、県や開催地の出水と連携して、競技役員を中心に会員が協力して遺漏がないように大会を運営して行く。
同時に、総合優勝を目指して、国体選手の強化を図るとともに、支部長はじめ、会員の皆様へのご協力を併せてお願いする。
- 2 会員相互の融和と親睦を図るとともに、支部・県弓道連盟の活性化に努める。
- 3 会員の技術向上には、基本に徹する体配・射技射法の修練が重要である。そのため、審査会・講習会・大会への参加を奨励するとともに会員が自らを高める稽古に専心する気運を醸成するとともに、互いに切磋琢磨する弓道修練を推奨する。
- 4 底辺拡大と会員の確保のため、初心者弓道教室等の開催や経験者の発掘を図るなど、受け入れ体制の充実、拡充に支援を行う。
また、学生・生徒の弓道人口の充実も重要であることから、大会の運営や支援の充実に努める
- 5 コンプライアンス（法令遵守）の徹底、暴力、ハラスメントの根絶、矢羽の使用に関する準則の遵守ならびにアンチドーピングの徹底を図る。